



2015・9・11

第 215 号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

憲法も民意も無視する自公の暴挙許さない！

民主主義への挑戦を公然と宣言

自民・公明の与党が 16 日にも戦争法案採決強行で合意したとの報道がなされているなか、自民党の高村正彦副総裁は 9 月 6 日、青森市での講演で、「国民の理解が得られていないというのはある程度その通りかもしれない」と認めつつも、「決めるときには決めなければならない」と語りました。

審議すればするほど法案が憲法に違反すねものであることが明らかになり、反対世論は日増しに高まっているにもかかわらず、これを無視してはばからないこの姿勢は、民主主義とは無縁の独裁者のものといわなければなりません。

国会最終盤へ、宣伝、共同さらに

【徳島県】 「九条の会徳島」は 9 月 4 日、戦争法案の廃案と憲法守れと訴える全県キャラバンを始めました。県下全域で連日宣伝します。

4 日は、「西部みんなの九条の会」とともに三好市、東みよし町で、「だれの子どもも

殺させない」の横断幕、「アベ政治を許さない」のプラカードを掲げ、8カ所で宣伝。12日の安保法案の廃案を求める 9・12 徳島県民大集会への参加を呼びかけました。

宣伝を聞いた三好市の白井忠さん（71）は、「秘密保護法の施行に続き、日本は（戦争に向かう）危機的状況だ。このまま法案を通すのはおかしい。12日の集会に参加します」と話しました。

市議会各党派も参加して宣伝行動

【福岡県大牟田市】 「九条の会・おおむた」主催の「戦争法案の廃案を求める市民集会」が 8 月 29 日に開かれ約 400 人が参加し、ゆめタウンまでデモ行進をしました。

集会は、大牟田市議会の社民、民主、共産、護憲クラブが共催に名を連ね、地域の九条の会や介護施設、労働組合など 50 団体、絵本作家や俳優、国会議員など個人 15 人が賛同するなど、文字通り広範な共同の実現によって開かれました。

デモ出発前のリレートークでは宗教者や

大学生らがそれぞれの思いを語り、大牟田空襲の体験者（90）は、「無数の焼夷弾から命からがら逃げまわり、終戦で安堵した。二度と戦争をしてはいけないと思い頑張りたい」と語りました。

【佐賀県小城市】 「小城9条の会」は8月31日、小城市内で街頭宣伝を行い、民主党の大串博志衆院議員、香月チエミ市議、共産党の松尾義幸市議、無所属の富永正樹市議、諸泉定次市議を含む約20人余が参加しました。

「小城9条の会」の福島治枝世話人は「戦争法案反対の声は全国各地小さな村からも反対の声が上がっている。若い人や女性たちも立ち上がっている。各地域、各分野から安倍政権を包囲したい」と訴え、市会議員らも戦争法案反対を訴えました。

「会」アピールに立場超え44人賛同

【山口県岩国市】 「九条の会岩国」は9月4日、法案成立を強行しようとする政府与党の姿勢を「国民主権の否定」と批判し、戦争法案の廃案を求めるアピールと賛同者を発表しました。

8月中旬から各界に賛同を呼びかけてきて、教育、医療関係者や美術家、宗教者など立場を超えて44人が賛同しています。

世話人の一人、宮田伊津美さんは「全国でさまざまな立場の人が反対の声をあげているのを知り、岩国からも連帯できないかと取り組んだ」と話しました。

地元でできるあらゆる取り組みで

【兵庫県西脇市】 「憲法九条の会にしわき」は、8月25日、片山西脇市長に対し、

戦争法案をめぐって国民運動が圧倒的に高まっているなかで、片山市長が公務員の憲法尊重擁護する義務規定にのっとり、立憲主義を否定するこの法案に反対を表明するよう申し入れました。

同時に、地元選出の藤井比早之衆議院議員（自民）に対しても「衆議院での法案強行採決に抗議し、『国際平和支援法案』『平和安全法制整備法案』（いわゆる『安全保障関連法案』）の廃案を求めます」との申入れを西脇事務所へ届けました。

さらに北はりまネットワークに結集する7つの9条の会は、1日ごとの順送りで宣伝カーを運行し、市民の戦争法案に反対の声を大きく広げるためにがんばっています。

市議会に陳情提出し議員要請行動

【神奈川県南足柄市】 「南足柄・九条の会」は「8・30国会集会」に10名を超える参加者を送り、国会前に行けない人たちはスタンタディングを行いました。

その後の新たな運動として市議会に「平和安全法制関連法案の廃案を求める意見書」の採択を求める陳情をおこない、いま市議会議員への要請行動をおこなっています。「安倍首相の言うとおりであり、9条の会とは考えが違う、賛成できない」と明言する議員もいますが、憲法99条の憲法尊重擁護の義務を負う議員として「9条を守る」「日本を海外で戦争する国にさせない」点では一致できますかと話すと、「一致できる」と答えるケースもうまれています。

「ママは戦争反対」と子連れデモ

【奈良県大和高田市】 JR高田駅前

8月30日、「8・30国会10万人、全国100万人大行進」に連帯し、大和高田9条の会、新婦人大和高田支部などが集会とデモ行進をおこないました。若いお母さんを中心に、お父さんや子どもたちも含めた50人が参加しました。

2歳の女の子をつれた前川伸子さん(42)は「こどもが生まれてから、行動に行かなければと思うようになりました。戦争は絶対に反対です」と訴えました。

棚田のあぜにズラリ 42 人余

【大阪府千早赤阪村】大阪府の「千早赤阪村9条の会」は8月29日、「戦争法案を廃案に」「安倍政治許さない」のアピール行動を42人で行いました。

草刈りが終わった棚田の最上段のあぜに「戦争法案は廃案に」との大きな看板や「安倍政治許さない」のプラカードやステッカーをもって42人余が並び、みんなでシュプレヒコールをし、「戦争法案廃案」の意思表示をしました。

市民が戦争体験をバトンタッチ

【北海道北広島市】「北広島九条の会」はこのほど『市民が語る戦争体験バトンタッチ』第7集を刊行しました。70年前の戦争の中で、人びとの命や暮らしはどうだったのか、15人が手記を寄せています。

元新聞記者の北川保雄さん(73)ら5人が編集委員となり、市の広報誌にも募集案内を載せるなど広く市民から原稿を募り、戦争の記憶を掘り起こしてきました。日本を再び「戦争する国」にしようとする動きが強まるなか、証言を寄せた市民は、第1

集(2009年)からの通算で110人を超えました。空襲、強制連行、樺太、軍国主義教育…証言の一つひとつから苦しみや怒りが伝わります。

九条の会結成の便り

【千葉県・障害者】千葉県の障害者団体や患者団体の有志のよびかけで、「千葉県障害者・患者9条の会」発足のつどいが9月6日開かれ、50人余が参加しました。

つどいでは、参加者から「生活、福祉予算の削減を許さないためにも戦争法案に反対(視覚障害の男性)」「傷痕軍人だった父はいつも『戦争でひどいことをした』と語っていた。今止めなければ(車いすの女性)」などの発言が相次ぎました。

【和光大学OB】和光大学のOBや教職員による「和光大学OB・九条の会」の発足集会が9月5日開かれ、全国各地から50人余が参加し、憲法改悪や戦争準備に反対し連帯することを申し合わせました。

参加者からは「地元でも憲法を守るたたかいつづけていく」「立場の違いを超えた市民の運動が政党と政党をつなぎ、戦争法案反対の運動を広げている」などの発言があいつぎました。

【横浜国立大】7月、横浜国立大学では山崎圭一教授(経済学)を発起人に11人の教授の呼びかけで「横浜国立大学九条の会」を発足させ、9月3日「安保関連法案と憲法を考える研究会」を開きました。

大学関係者、学生、若者、市民ら170人が参加したこの集会で、山崎教授は「立憲主義が危険な状態にあり、大学人としてメッセージを発信したい」とあいさつしました。